

令和2年度
各特別会計
当初予算の概要

令和2年3月
国見町

目 次

令和2年度国見町大木戸財産区特別会計当初予算の概要	1
令和2年度国見町入山財産区特別会計当初予算の概要	2
令和2年度国見町公共下水道事業特別会計当初予算の概要	3
令和2年度国見町後期高齢者医療特別会計当初予算の概要	4
令和2年度国見町国民健康保険特別会計当初予算の概要	5
令和2年度国見町介護保険特別会計当初予算の概要	7
令和2年度国見町土地開発事業特別会計当初予算の概要	9
令和2年度国見町湧水対策施設特別会計当初予算の概要	10
令和2年度国見町水道事業会計当初予算の概要	11

令和2年度国見町入山財産区特別会計予算の概要

1. 事業の概要

- (1) 財産区の設置 明治37年11月14日
- (2) 財産区の区域 旧藤田町外3ヶ村の一部
- (3) 山林の所在 白石市小原字雨塚山2-2外
- (4) 山林所有面積 265.33ha
 内訳 分収林 255.72ha
 (森林総合研究所森林農地整備センター・地区)
 直営 9.61ha
- (5) 樹種 スギ、アカマツ、ヒノキ、カラマツ外
- (6) 立木推定蓄積量 28,425m³

2. 予算の概要

管理会に要する経費及び管理委員による境界踏査、看守員による巡視の賃金など、一般管理経費が主なもので、予算総額はそれぞれ194千円となります。

3. 歳入歳出予算

(歳入)

(単位：千円)

款	本年度予算額	前年度予算額	増減額	増減比(%)
1 繰入金	183	168	15	8.9
2 繰越金	10	23	△13	△56.5
3 諸収入	1	1	0	0.0
計	194	192	2	1.0

(歳出)

(単位：千円)

款	本年度予算額	前年度予算額	増減額	増減比(%)
1 管理会費	101	101	0	0.0
2 総務費	88	86	2	2.3
3 予備費	5	5	0	0.0
計	194	192	2	1.0

令和2年度国見町公共下水道事業特別会計当初予算の概要

1. 事業の概要

公共用水域の水質保全、公衆衛生の向上等を目的として整備した総延長29kmに及ぶ下水道管路の安定的かつ適正な維持管理を実施します。

なお、令和2年度の主な事業としては、管渠調査、管渠改修工事、地方公営企業法移行基本計画策定業務委託となります。

2. 予算の概要

歳入では、受益者負担金が1,036千円で前年同額となっています。使用料については、83,777千円(前年比1.1%増)となり、国庫支出金は6,750千円(前年比575.0%増)、町債は63,500千円の借入れを行うとともに、一般会計から92,502千円の繰入を行い、歳入総額は248,699千円となります。

歳出では、流域下水道建設負担金、マンホール点検調査委託、管渠改修工事、流域下水道維持管理負担金などの事業費に83,196千円(前年比26.2%増)となります。また、公債費は元利償還金で156,089千円(前年比0.1%減)となり、歳出総額は前年より17,040千円増の248,699千円となります。

3. 歳入歳出予算

(歳入)

(単位:千円)

款	本年度予算額	前年度予算額	増減額	増減比(%)
1 分担金及び負担金	1,037	1,037	0	0.0
2 使用料及び手数料	83,787	82,840	947	1.1
3 国庫支出金	6,750	1,000	5,750	575.0
4 繰入金	92,502	93,378	△876	△0.9
5 繰越金	1	1	0	0.0
6 諸収入	1,122	103	1,019	989.3
7 町債	63,500	53,300	10,200	19.1
計	248,699	231,659	17,040	7.4

(歳出)

(単位:千円)

款	本年度予算額	前年度予算額	増減額	増減比(%)
1 総務費	9,114	9,154	△40	△0.4
2 事業費	83,196	65,909	17,287	26.2
3 公債費	156,089	156,296	△207	△0.1
4 予備費	300	300	0	0.0
計	248,699	231,659	17,040	7.4

《参考》

(1) 供用区域及び排水設備接続状況

供用区域	面積	141.2ha	令和元年度末見込み
	対象戸数	1,938戸	
	接続戸数	1,751戸	
	接続率	90.35%	
	汚水排水量	423,028m ³	

令和2年度国見町後期高齢者医療特別会計当初予算の概要

1. 事業の概要

後期高齢者医療制度では、広域連合が保険者となってその運営を行うため、本特別会計では、町の実施する保険料の収納と広域連合への納付のための各種費用、健診業務等の保健事業の実施に伴う費用等にかかる予算となっています。

なお、広域連合を運営するための医療給付等の町負担分、事務経費としての共通経費は一般会計での拠出となっています。

- ① 被保険者数/令和元年12月末現在1,941人(平成30年度1,914人)
- ② 保健事業 健康診査548人 追加健診項目548人(令和元年度)

2. 予算の概要

歳入歳出予算の総額は、それぞれ142,952千円で、前年度当初予算と比較して18,252千円(14.6%)増となっています。

歳入の主なるものは、被保険者からの保険料収入が94,123千円で前年比14.5%増、一般会計からの繰入金が44,289千円で前年比15.3%増、広域連合からの健診事業委託料等の諸収入が4,539千円で前年比10.7%増となっています。

歳出の主なるものは、事務経費である総務費が6,473千円で前年比78.5%増、保険料収入や健診事業負担金等の広域連合納付金が129,783千円で前年比12.8%増、健診事業に係る保健事業費が6,466千円で前年比11.0%増となっています。

3. 歳入歳出予算

(歳入)

(単位:千円)

款	本年度予算額	前年度予算額	増減額	増減比(%)
1 後期高齢者医療保険料	94,123	82,196	11,927	14.5
2 繰入金	44,289	38,402	5,887	15.3
3 繰越金	1	1	0	0.0
4 諸収入	4,539	4,101	438	10.7
計	142,952	124,700	18,252	14.6

(歳出)

(単位:千円)

款	本年度予算額	前年度予算額	増減額	増減比(%)
1 総務費	6,473	3,627	2,846	78.5
2 後期高齢者医療広域連合納付金	129,783	115,019	14,764	12.8
3 諸支出金	130	130	0	0.0
4 保健事業費	6,466	5,824	642	11.0
5 予備費	100	100	0	0.0
計	142,952	124,700	18,252	14.6

令和2年度国見町国民健康保険特別会計当初予算の概要

1. 事業の概要

平成30年度から国民健康保険制度が改正され、福島県とともに保険者となり、その運営を行うため、本特別会計では、町の実施する国保税の収納と福島県への納付のための各種費用、健診業務等の保健事業の実施に伴う費用等にかかる予算となっています。

① 被保険者(令和2年度見込)

(単位：人)

項 目		令和2年度	令和元年度	増 減	
一般分	一般	1,522	1,648	△126	
	70歳以上一般	612	554	58	
	70歳以上現役並所得者	48	49	△1	
	18歳以下	143	169	△26	
退職者分	本人	2	13	△11	
	家族	一般	0	0	0
		18歳以下	0	0	0
合 計		2,327	2,433	△106	

② 保険給付費(内訳)

(単位：千円)

項 目		令和2年度	令和元年度	増減比(%)
療養給付費	一般被保険者療養給付費	622,447	631,429	△1.4
	退職被保険者療養給付費	100	1,950	△94.9
療養費	一般被保険者療養費	6,086	6,146	△1.0
	退職被保険者療養費	5	10	△50.0
審査手数料		2,591	2,768	△6.4
高額療養費	一般被保険者高額療養費	84,108	82,280	2.2
	退職被保険者高額療養費	100	370	△73.0
	一般被保険者高額介護合算療養費	106	178	△40.4
	退職被保険者高額介護合算療養費	10	10	0.0
移送費	一般被保険者移送費	20	20	0.0
	退職被保険者移送費	20	20	0.0
出産育児一時金(4名見込)		1,681	1,681	0.0
葬祭費(30名見込)		1,500	1,500	0.0
合 計		718,774	728,362	△1.3

③ 保健事業(数字は、R1受診者数、利用者数)

特定健診受診 947人 積極的支援 2人 動機づけ支援 60人
人間ドック 201人 特定健診項目(尿中塩分測定)追加

④ 医療費適正化推進事業

レセプト審査の委託、ジェネリック薬品差額通知書作成送付、医療費通知書作成送付、ジェネリック希望カード、臓器提供意思表示カード等の配布

⑤ 国保保健指導事業

特定保健指導未利用者及び重複・頻回受診者訪問
糖尿病性腎症重症化予防

⑥ 国民健康保険財政調整基金残高(令和元年度末見込) 59,923千円

2. 予算の概要

歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ 1,060,616 千円とし、前年度と比較し 7,398 千円 (0.7%) の減となっています。

歳入では、国民健康保険税が 215,457 千円で対前年比 2.6%の増、県支出金が 760,868 千円で対前年比 0.8%の減、一般会計繰入金が 82,786 千円で対前年比 9.0%の減となっています。

歳出では、保険給付費が 718,774 千円で対前年比 1.3%の減、国民健康保険事業費納付金が 275,295 千円で対前年比 0.7%の減、保健事業費については 27,046 千円で対前年比 1.0%の増となっています。

3. 歳入歳出予算

(歳入)

(単位：千円)

款	本年度予算額	前年度予算額	増減額	増減比(%)
1 国民健康保険税	215,457	209,915	5,542	2.6
2 国庫支出金	1,453	1	1,452	145,200.0
3 県支出金	760,868	767,096	△6,228	△0.8
4 財産収入	33	24	9	37.5
5 繰入金	82,786	90,959	△8,173	△9.0
6 繰越金	1	1	0	0.0
7 諸収入	18	18	0	0.0
計	1,060,616	1,068,014	△7,398	△0.7

(歳出)

(単位：千円)

款	本年度予算額	前年度予算額	増減額	増減比(%)
1 総務費	29,213	25,650	3,563	13.9
2 保険給付費	718,774	728,362	△9,588	△1.3
3 国民健康保険事業費納付金	275,295	277,161	△1,866	△0.7
4 保健事業費	27,046	26,772	274	1.0
5 基金積立金	34	25	9	36.0
6 諸支出金	9,254	9,044	210	2.3
7 予備費	1,000	1,000	0	0.0
計	1,060,616	1,068,014	△7,398	△0.7

令和2年度国見町介護保険特別会計当初予算の概要

1. 事業の概要

(1) 被保険者等(令和元年12月末現在)

①第1号被保険者数 3,680人(75歳以上1,924人) (前年同月3,662人)

②要介護認定者数 686人(75歳以上609人) (前年同月663人)

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	認定率
45人	78人	132人	156人	84人	90人	101人	18.6% (前年18.1%)

(2) 介護給付費 1,277,091千円

内訳 介護サービス等諸費：1,161,505千円 ———— 居宅サービス費 510,727千円
 介護予防サービス等諸費：22,613千円 ———— 地域密着型サービス費 202,490千円
 審査支払手数料：1,073千円 ———— 施設サービス費 448,288千円
 高額介護サービス等費：25,000千円
 高額医療合算介護サービス費：3,500千円
 特定入所者介護サービス等費：63,400千円

(3) 地域支援事業費 58,036千円

- ・介護予防・生活支援サービス事業(訪問型サービス、通所型サービス等)
- ・一般介護予防事業(介護予防普及啓発、地域介護予防活動支援事業等)
- ・包括的支援事業・任意事業(地域包括支援センター事業委託、認知症施策推進事業等)

(4) 介護給付費準備基金残高(令和2年度末見込み) 151,389千円

2. 予算の概要

令和2年度歳入歳出当初予算は、町が定める第7期介護保険事業計画(計画期間平成30年度～令和2年度)に基づき編成しています。

保険事業勘定の今年度の歳入歳出当初予算総額は、歳入歳出それぞれ1,387,449千円で、前年度と比較して4.6%の増となっています。

歳入の主なものは、第1号被保険者保険料257,125千円(2.2%減)、分担金及び負担金66千円(増減なし)、国庫支出金318,937千円(3.2%増)、支払基金交付金352,607千円(5.2%増)、県支出金195,008千円(6.4%増)、繰入金262,173千円(12.1%増)となっています。

歳出の主なものは、総務費42,603千円(3.8%減)、保険給付費1,277,091千円(5.3%増)、基金積立金60千円(15.5%減) 地域支援事業費62,492千円(1.6%減)となっています。

3. 歳入歳出予算

(歳入)

(単位：千円)

款	本年度予算額	前年度予算額	増減額	増減比(%)
1 保 険 料	257,125	262,877	△5,752	△2.2
2 分担金及び負担金	66	66	0	0.0
3 国庫支出金	318,937	309,063	9,874	3.2
4 支払基金交付金	352,607	335,208	17,399	5.2
5 県支出金	195,008	183,249	11,759	6.4
6 財産収入	60	71	△11	△15.5
7 繰入金	262,173	233,780	28,393	12.1
8 繰越金	1	1	0	0.0
9 諸収入	1,472	1,953	△481	△24.6
計	1,387,449	1,326,268	61,181	4.6

(歳出)

(単位：千円)

款	本年度予算額	前年度予算額	増減額	増減比(%)
1 総務費	42,603	44,264	△1,661	△3.8
2 保険給付費	1,277,091	1,213,251	63,840	5.3
3 基金積立金	60	71	△11	△15.5
4 地域支援事業費	62,492	63,479	△987	△1.6
5 諸支出金	203	203	0	0.0
6 予備費	5,000	5,000	0	0.0
計	1,387,449	1,326,268	61,181	4.6

令和2年度国見町土地開発事業特別会計当初予算の概要

1. 事業の概要

本会計は、福島地方土地開発公社に委託し進めている国見ニュータウン分譲に係る特別会計で、主に国見ニュータウンの宅地分譲代金の受け入れと、福島地方土地開発公社への委託料の支払いに充てているものです。

「国見ニュータウン」の宅地分譲代金が主なものであり、令和2年度末までに3区画の分譲を進める計画としています。

2. 予算の概要

歳入では、3区画の分譲により、33,708千円を収入し、その結果、繰越金1千円、預金利子1千円、一般会計繰入金390千円を合わせた歳入総額を34,100千円と見込みました。

歳出では、福島地方土地開発公社に板橋南住宅団地（国見ニュータウン）開発委託料として合計34,046千円、予備費54千円を計上し、歳出総額を34,100千円と見込みました。

3. 歳入歳出予算

(歳入)

(単位：千円)

款	本年度予算額	前年度予算額	増減額	増減比(%)
1 財産収入	33,708	46,208	△12,500	△27.1
2 繰入金	390	0	390	皆増
3 繰越金	1	91	△90	△98.9
4 諸収入	1	1	0	0.0
計	34,100	46,300	△12,200	△26.3

(歳出)

(単位：千円)

款	本年度予算額	前年度予算額	増減額	増減比(%)
1 総務費	34,046	46,208	△12,162	△26.3
2 予備費	54	92	△38	△41.3
計	34,100	46,300	△12,200	△26.3

令和2年度国見町渇水対策施設特別会計当初予算の概要

1. 事業の概要

本会計は、東北新幹線蔵王トンネル掘削に伴う自然湧水枯渇によるかんがい用水の送水に要する経費を計上し、その財源は渇水対策施設基金の運用収入で行っております。

令和2年度の管理運営にあたっては、かんがい期における石母田ポンプ場、高城ポンプ場からの効率的送水により電気料等の経費節減を図るとともに、両施設における維持修繕等もあわせて行うこととしております。

2. 予算の概要

この会計の財源である基金については、低金利時代の中にあつて令和2年度も引き続き効率的な運用を図ることとして予算編成しました。土地開発公社への貸し付けについて、371,710千円の運用を予定し、財産収入において956千円（前年比56.4%減）を見込みました。また、老朽化する施設等の維持管理に対応するため、繰入金において9,000千円を見込みました。

その結果、歳入歳出の予算総額は前年度比44,732千円減の10,030千円となりました。

3. 歳入歳出予算

(歳入)

(単位：千円)

款	本年度予算額	前年度予算額	増減額	増減比(%)
1 財産収入	979	2,211	△1,232	△55.7
2 繰入金	9,000	52,500	△43,500	△82.9
3 繰越金	50	50	0	0.0
4 諸収入	1	1	0	0.0
計	10,030	54,762	△44,732	△81.7

(歳出)

(単位：千円)

款	本年度予算額	前年度予算額	増減額	増減比(%)
1 管理会費	163	151	12	7.9
2 財産管理費	9,817	54,561	△44,744	△82.0
3 予備費	50	50	0	0.0
計	10,030	54,762	△44,732	△81.7

4. 渇水対策施設基金の状況

(単位：千円)

区分	令和元年度末 (見込み)	令和2年度増減額 (見込み)	令和2年度末残高 (見込み)
町	374,266	△9,000	365,266
貝田	20,770	0	20,770
山根	11,940	0	11,940
合計	406,976	△9,000	397,976

令和2年度国見町水道事業会計当初予算の概要

1. 事業の概要

- (1) 給水件数 41,737件 (月平均3,478件)
 (2) 給水人口 8,970人
 (3) 1日平均給水量 2,500m³ (令和元年度 2,614m³)
 (4) 年間総給水量 912,628m³ (令和元年度 954,240m³)

2. 予算の概要

水道事業収益については、令和2年度も安全で良質な水道水の安定供給に努めるとともに、福島地方水道用水供給企業団からの受水量については、人口減少を予測し、前年受水量の約3.4%減を見込んでおります。

水道事業費用については、一層の経費削減や経営の合理化を図り、経営の健全化に努めます。しかし、給水収益の減少により、単年度における収益的収支においては△10,610千円(税抜)の純損失の見込みです。

資本的支出については、生活基盤施設耐震化等交付金事業により、避難所等の重要給水施設への配水管布設替を図るとともに、単独事業においても老朽管の布設替工事を予定しております。

資本的収入については、国庫補助金、出資金等を見込み、不足する額は内部留保資金(過年度分損益勘定留保資金)等で補填することとしました。

3. 収益的収入及び支出

※税込額

(収入)

(単位：千円)

項	本年度予算額	前年度予算額	増減額	増減比(%)
1 営業収益	222,536	244,625	△22,089	△9.0
2 営業外収益	23,682	23,474	208	0.9
3 特別利益	1	10	△9	△90.0
計	246,219	268,109	△21,890	△8.2
(剰余金)	(△10,610税抜)			

(支出)

(単位：千円)

項	本年度予算額	前年度予算額	増減額	増減比(%)
1 営業費用	251,433	259,156	△7,723	△3.0
2 営業外費用	2,464	4,010	△1,546	△38.6
3 特別損失	1	10	△9	△90.0
4 予備費	500	500	0	0.0
計	254,398	263,676	△9,278	△3.5

4. 資本的収入及び支出
(収入)

※税込額
(単位：千円)

項	本年度予算額	前年度予算額	増減額	増減比(%)
1 国庫補助金	6,025	2,400	3,625	151.0
2 工事負担金	1	1	0	0.0
3 出資金	8,000	2,000	6,000	300.0
計	14,026	4,401	9,625	218.7
(補填金)	(72,920税込)			

(支出)

(単位：千円)

項	本年度予算額	前年度予算額	増減額	増減比(%)
1 建設改良費	78,300	83,700	△5,400	△6.5
2 企業債償還金	8,646	140,166	△131,520	△93.8
計	86,946	223,866	△136,920	△61.2

5. 令和2年度建設改良工事等

(単位：千円)

事業名	事業費	事業概要	事業箇所
生活基盤施設耐震化等 交付金事業	24,100	配水管布設替	山崎字堂ノ前 他
老朽管更新事業	54,100	配水管布設替	徳江字小林 他
		配水管布設箇所舗装	石母田字弁天沢 他
量水器購入費	100	量水器購入費	